



## Watching Carefully

取材・文／竹中聡 撮影／畑中勝知

## Chacoal Bar Opening Reception

@Chacoal Bar



A. 御大、「ススムさん」こと山中進氏、DD・UP'S club・Picca bar・So what !...、著名なバーを作ったのはこの人。が、今は全て愛弟子の店。お隣はこの店での相棒、ツカサ氏。ご本業は彫り師。この日は彫り物見えず B. ♀♀♀♀♀のガッチリ系。右の♂VIVAのプリンスはDDチェーンとは基本的に縁はなし。左の♂村橋センセはP54に真面目な顔でもご登場 C. ススムさん一押しスタッフ。「ナンジニキタラ、アエマスカ？」D. ちょ、ちょ、ちょ、嬢野？本名は坂東さん。コーナー名を「Be carefully」に変えようと言った者もいる E. 「マエダのフラミンゴカフェ」の2人、手前左のパンチョーと右のヒロ。現「Bollocks Paradium」オーナー、奥のヒデのみ、この時点でのDDチェーン出身者 F. P.15に登場「福市」のイタリー氏が、チャコール・イタリアン「Chacoal」としてオープンした店が原型

その男、木屋町生活37年。ただし、ブランクあり。その男が木屋町を離れる時、それは家庭を守る時。この度、晴れて4度目の離婚を経験し「木屋町のバー寂しいやん。どこもヒマやし」と7年ぶりに木屋町に凱旋した男の名は山中進。

「ガールズバー？ いやここはカフェ。コーヒー出すし（笑）。3時間で30人の女の子がコロコロ変わるねん」「正当キャバラ？」「頑張っってテイクアウトしてや（笑）。嘘か誠か本気が冗談か。この店は出しも出した50軒目の店となる。ただし、離婚の度に財産贈与で手放して、手元に残る店は数軒。もっとも、愛弟子たちに譲り渡した店も多い。

「ススムさん」の名の下に再集結したこの風景を見よ。この男の周りには、常に男たちが集まる。不埒な、だが格好良い男たちが。数年前、弊誌の取材に応じて言ったものだ。「すぐ飽きるんや。で、飽きたらやめる。残るのは借金ばかり（笑）」さてこの店が借財の塊になるかどうかは、ひとまずは我々客次第。でも木屋町バーの不景気が続くかどうかは、意気軒昂、生涯現役の、この男次第。



その男、名物につき。木屋町を離れる術を知らず。その男のいるところ、常に木屋町を求む者ありき。